

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	English F		
英文授業科目名	English F		
開講年度	2006年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目Ⅰ		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	奥 浩昭		
居室	西6-305		

公開E-Mail	授業関連Webページ
eigokyoumu@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
1 教科書のテキストの構造（序論・本論・結論）を把握し、大意をとらえる。 2 「序論・本論・結論」からなる英文エッセイを書く。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
S.Kathleen Kitao, K.Kitao: From Paragraphs to Essays (英潮社：1,600円)

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

- 1 皆さんの書いた英語の文章を基に、英語の書き方を学ぶ。
例：I was checked my essay. I had my essay checked.
- 2 教科書のエッセイを読み、構造（序論 本論 結論）把握の練習をする。
- 3 読んだエッセイを参考に、パラグラフ（1段落）やエッセイ（数段落）を書く練習をする。
- 4 最後の10分：その場で英語のパラグラフ（1段落：約10行）を書く練習。
実力として評価。
- 5 課題
1) パラグラフ（1段落）を書く：学期中に5回。
2) 学期に1回：個人エッセイを1月中旬に提出。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- 1) 実力3割 努力7割
- 2) 実力
 - ・授業中（最後の10分）のパラグラフライティング：1割
 - ・学年末試験（エッセイを書く）：2割
- 3) 努力
 - ・出席、授業への参加：2割
 - ・課題：パラグラフライティング（5回）：2割
 - ・課題：1月中旬提出のエッセイ：2割
 - ・言語自習室での学習とその報告：1割
（言語自習室での学習が困難な場合は、それに代わる学習を認める）
- 4) 欠席4回＝単位がつかない。 遅刻2回＝欠席1回。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜5限

【学生へのメッセージ】

前期の授業は、シラバスと授業が大きく異なっていました。
お詫びします。

【その他】